

(5/12 監視チームにおける議論のまとめ)

1. 前回会合における指摘事項の回答について

①安全対策に係る菱措置計画変更認可申請について

○TVF 建家健全性評価(波力、余震重畳)について

TVF 建家健全性評価(波力、余震重畳)について

【概要】

ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟については、廃止措置計画用設計津波(設計津波)に対して建家内に浸入させない措置等を講ずる方針であり、設計津波に対する建家の評価を進めている。

TVFの一部の外壁では津波波力による応力が部材耐力を超える可能性があることから、一部外壁の補強を行う計画であり、その方針を示す(TVF 建家健全性評価結果については令和2年7月変更申請予定)。

令和2年5月25日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

TVF 建家健全性評価(波力、余震重畳)について

ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟については、廃止措置計画用設計津波(設計津波)に対して建家内に浸入させない措置等を講ずる方針であり、設計津波に対する建家の評価を進めている。

現在、波力と余震の重畳に対する部材の評価を実施中であるが、TVF の一部の外壁では発生する応力が部材耐力を超える可能性がある。

今後は、高放射性廃液貯蔵場(HAW)と同様に、荷重(波力、余震、漂流物衝突、浮力、水圧)の組み合わせに対し評価を実施し、評価結果については令和 2 年 7 月に変更申請を行う予定である。また、評価結果を踏まえた外壁補強工事に係る申請を令和 3 年 1 月に予定している。

なお、補強工事はR3年5月から9月に予定しているTVFの運転に影響を及ぼさないよう配慮する必要があるが、準備等早期に着手する。

以 上